

樋爪氏の祖は、藤原清衡の四男清綱であるといわれています。清綱は祖父に当たる藤原経清と同じ宮城の亘理郡を拠点とし、「亘理権十郎」を名乗っていましたが、長男・俊衡が志波郡を治めることになり、姓を樋爪氏に変えたといわれています。

—紫波町まち旅図鑑 紫波町・紫波町観光交流協会発行から—

《《《 10～11月行事予定のお知らせ 》》》

<p>10月 6日 (日曜日)</p>	<p>第3回遺跡めぐり ＝神社、お寺(堂)＝ ※ 今回は自家用車に分乗して回りますので、参加者は会員に限定します。</p>	<p>午前8時30分 赤石公民館 出発 ①*五郎沼薬師神社→②*大日堂・覚王寺→ ③*嶋の堂観音(小路口遺跡)→④厳島神社(善知鳥館跡)→⑤八坂神社(下川原遺跡)→ ⑥岩手山神社(西田遺跡)→⑦廣澤寺*→ ⑧*志賀理和気神社 (*印は内部拝観予定。一部変更する場合あり。) 午後3時頃 赤石公民館帰着・解散</p>
<p>10月16日 (水曜日)</p>	<p>第46回月例懇話会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：金濱興一 テーマ：「白旗の地名について」 発表者：佐藤雄一 テーマ：「赤石を興した人々(二)」</p>
<p>11月 3日 (日曜日)</p>	<p>第4回会員研修旅行</p>	<p>午前8時 赤石公民館 出発(午後6時頃帰着) 見学先 贅の柵跡、矢立廃寺跡、胡桃館遺跡、秋田城跡、弘田の柵跡など(時間により一部割愛) 募集定員 30名 参加費 3000円程度 ※人数等により変更 申込み 10月10日までにFAXで赤石公民館へ</p>
<p>11月20日 (水曜日)</p>	<p>第47回月例懇話会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：「防御性集落について」 発表者：高橋敬明 テーマ：「比爪館1～5次発掘調査の概要」</p>

町内で行われる絶好の機会を見逃さないようにしましょう!

岩手県文化振興事業団プレゼンツ・・・

「文化・芸術が集うとき in 紫波町」 11月14日(木)～17日(日)
10:00～17:00 無料

■ 会場 紫波町情報交流館(オガールプラザ) 大スタジオ

■ 展示解説会 11月16日(土)、17日(日) 各14:00～15:00

岩手県文化振興事業団による合同展です。博物館、埋蔵文化財センター、美術館、県民会館の展示・コンサートなどがあります。

⇒ 博物館や埋文センターでは、比爪館遺跡等から出土した遺物や検出された遺構のパネル等も展示しますので、これまでの埋蔵文化財発掘調査の全容を学ぶことができる待望の企画です。ご家族、ご近所、お友達などを誘って、何度でも足を運んでください。

【第4次発掘調査】

比爪館跡(“館”は原文のとおり記載)第4次・第5次発掘調査報告書<紫波町教育委員会・文化財調査報告書第九集 昭和51年3月発行>から 一要略一

I 第4次調査にいたるまでの経過

1 昭和40年の第1次調査

出土遺物は土師・須恵・陶土片で、時期は9～12世紀。建物跡2棟、二つの建物が同時期に共存していたものとは認め難い。

比爪館跡については、これまで城山説と南日詰説の二説があったが、堀の残存形体や出土遺物からみて、ここが比爪館跡ではないかと一応考定されそうである。それにしても、比爪館跡と複合し、それよりも古い遺跡は、いったい何であるのか。ということが問題として残ることになった。

2 昭和44年の第2次調査

柱痕跡のほか土師・須恵の破片若干と円面硯が出土。溝状遺構一条を検出。

3 昭和47年の第3次調査

(1) 塹穴住居跡二つ検出。徳丹城跡の12号と同一時期のものともみなされる。

(2) 掘立柱建物(SB103) 1棟検出。中尊寺境内関山亭敷地で検出された七間屋と三間屋それに平泉館(柳之御所)跡の建物などと近似し、柱穴・柱の太さは平泉館とほぼ同一である。故に、SB103 建物は平泉の建物遺構とほぼ同じ頃の造営とみなすことができるので、この比爪館は「吾妻鏡」に記されている奥州平泉藤原氏の一族比爪氏の居館跡であるという伝承は、発掘調査によって実証されたことになる。

(3) 赤石小学校校庭の中央よりやや北において東西に方向に走る一条の溝状遺構(SZ104)が第2次調査で検出されていた。今回これを追究し確認した長さが57m。さらに東西にのびていることもわかった。

このSZ104溝状遺構が、SB103建物と共存したものなのか、それとも造営時期が異なっているのか。これは果して溝であるのか、それとも柵木を並立埋設した柵列なのか。こういった新しい問題が提起されるにいたった。

II 第4次発掘調査の概要

調査期間 昭和49年11月16日より20日まで
5日間

調査地域 赤石小学校校庭から道路をへだてた民有畑地。

* 箱清水179-2 藤原善次郎氏所有地

* 箱清水163-4 林政雄氏所有地

(野崎米蔵氏管理)

* 箱清水171 鎌田シヅエ氏所有地

調査参加者 岩手大学名誉教授・岩手県文化財
専門委員 板橋 源
紫波町文化財調査委員 佐藤 政雄



東より西方にのぞむ。遠景は赤石小学校の校舎と校庭。～溝状遺構に柱穴が複合～

III 第4次発掘調査の結果

今次の調査目的は第3次(昭和47年度)で検出された溝状遺構(東西57m)を、さらに東方に向かって追究することにあつた。赤石小学校東側の道路(南北方向)に接し民家が点在している。それで今次は民家を避け周辺の畑地三か所だけ発掘した。

その結果、溝状遺構はまだまだ東方にのびていることが明らかとなった。第3次で検出された57mに今次検出できた70mを加算すると、溝状遺構は優に120mを越えていることになる。溝状遺構の上巾は50～57センチで深さは57～70センチ。第3次と同じ数値であつた。出土遺物はなかつた。

この遺構は溝であるのか、柵木を並立埋設した柵列であるのか、その結論は未詳というほかない。造営時代もまた未詳である。後考にまつことにする。